

# OSCによるQLab スナップショット制御

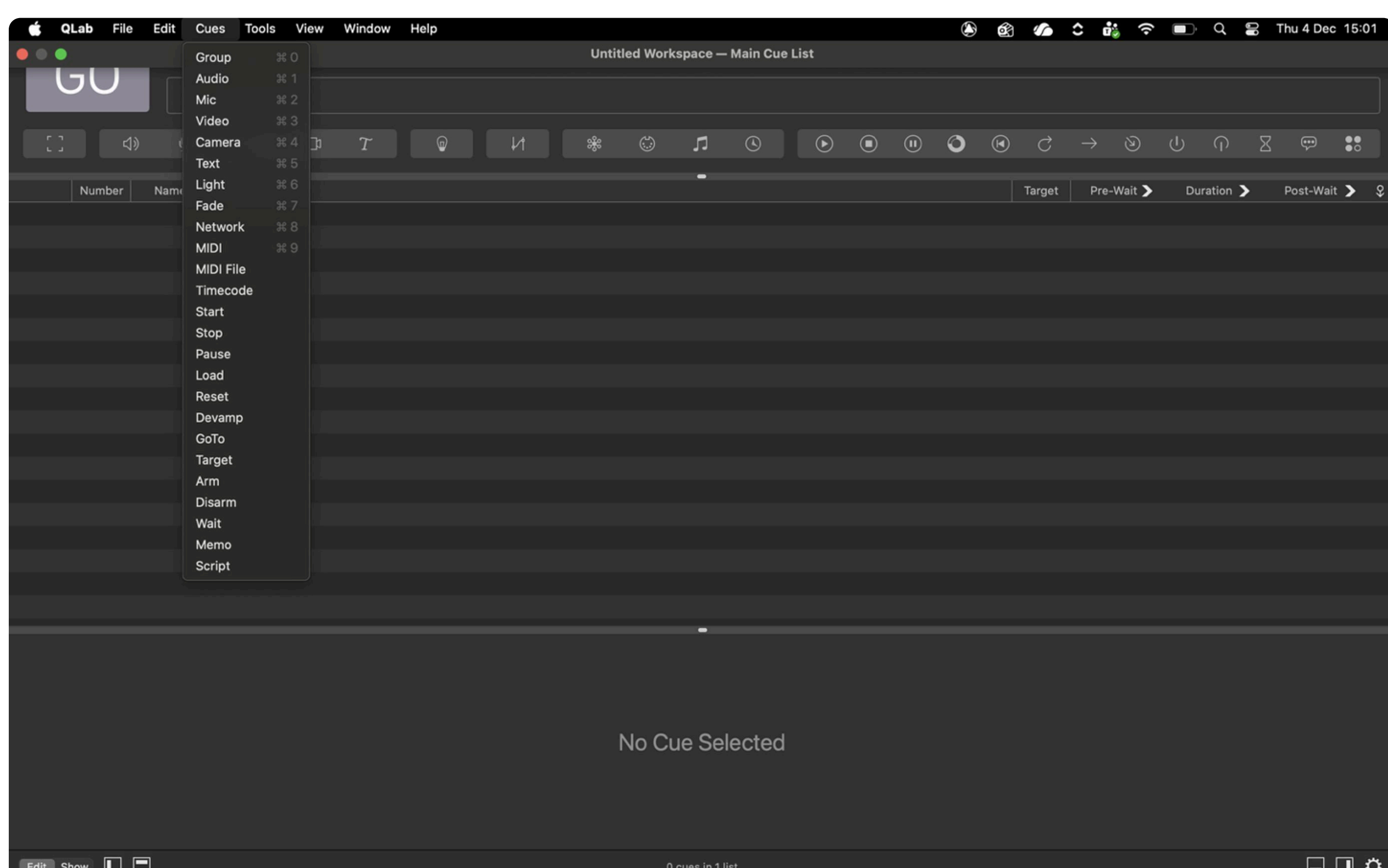
本ワークフローは今後変更する予定です。更新手順は準備でき次第、ご案内します。

## セットアップ

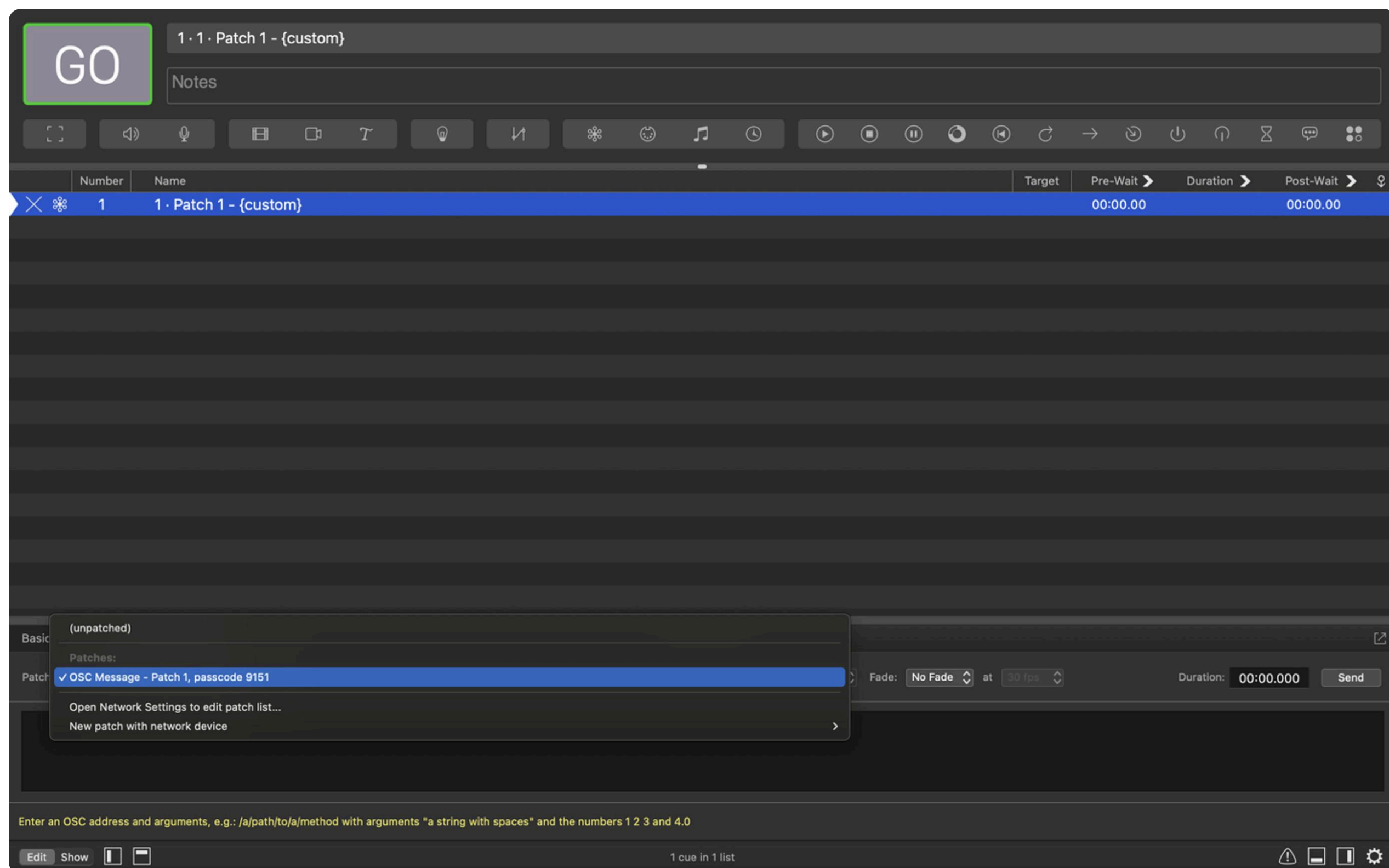
- 手順1：システム内の各ホストのIPアドレスを確認します。手順は [SEPIA ファームウェア更新ガイド](#) に記載の方法と同一です。
- 手順2：SEPIA でシステム構成を作成し、スナップショット保存前に目的の状態になっていることを確認します。

## スナップショットの保存

- 手順1：QLab を起動します（QLab Pro が必要です。Lite 版では使用できません）。
- 手順2：新規 **Network Cue** を作成します。システムメニューバーの **Cues > Network** を選択します。このキューが保存を実行します。

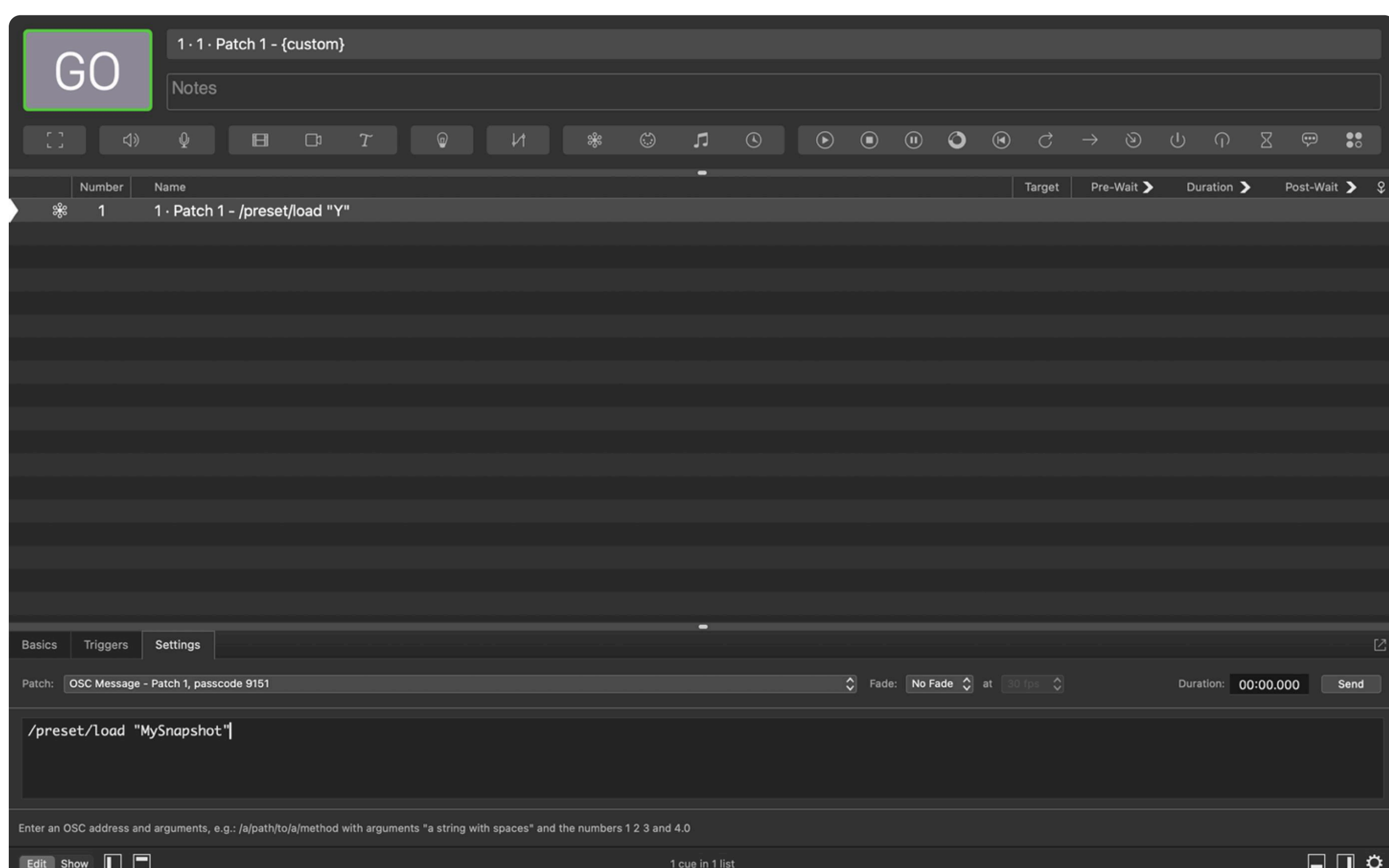


手順3：Settings タブで Patch が OSC Message に設定されていることを確認します。

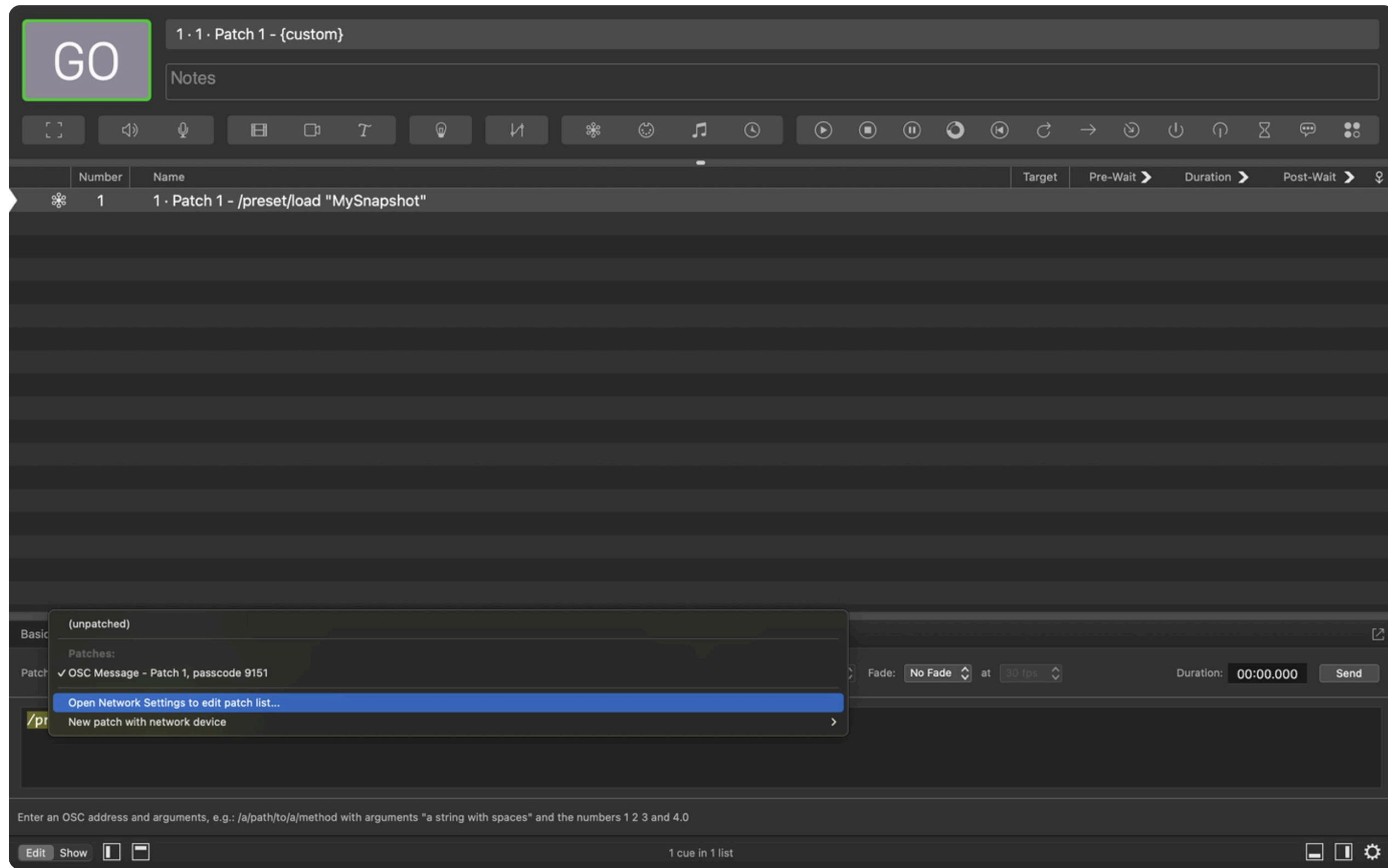


手順4：スナップショット名を設定します。Command フィールドに /preset/save "スナップショット名" を入力します。

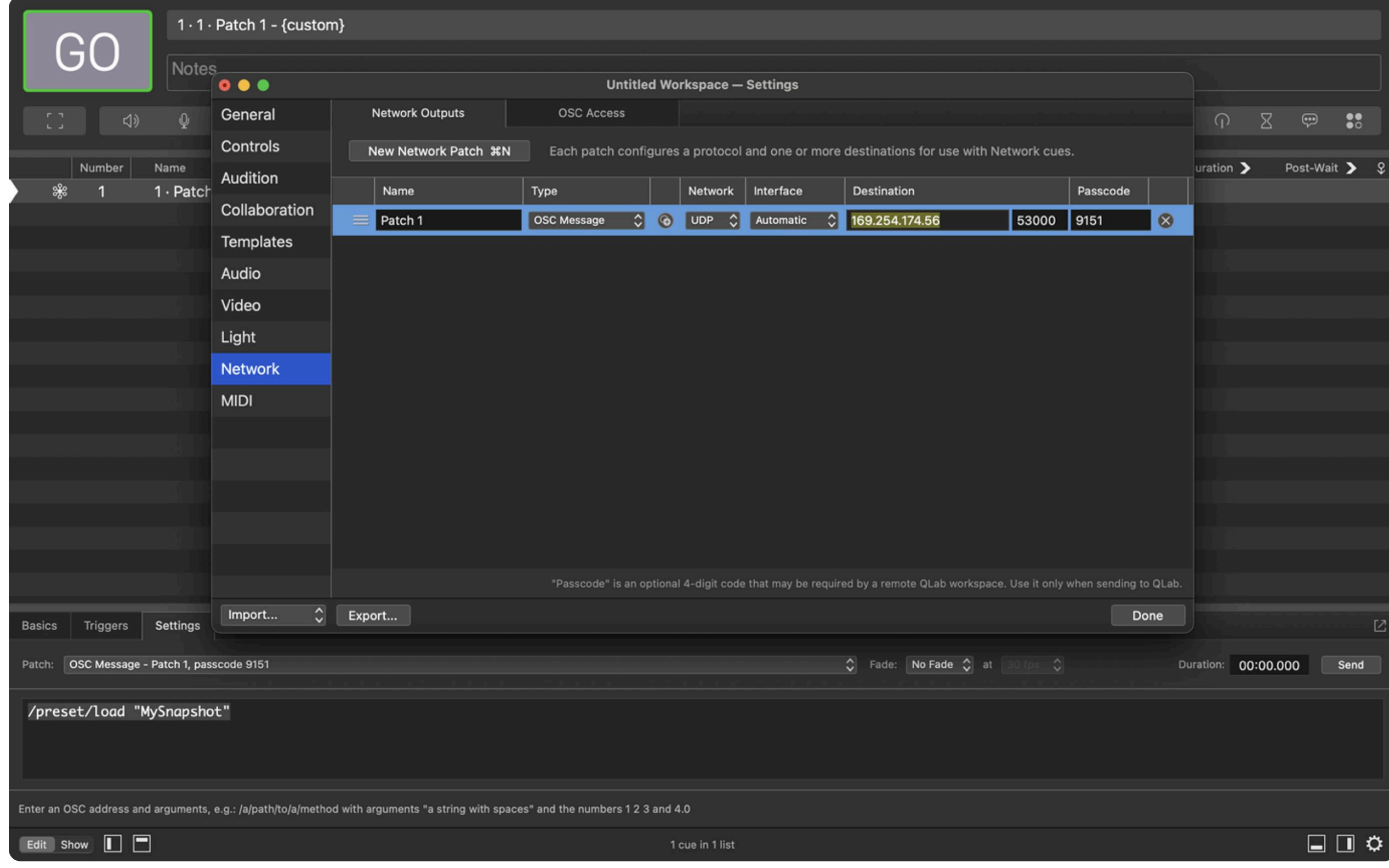
注：引用符内がスナップショット名となります。スペースおよび特殊文字は使用できません。既存ファイルを上書きしないよう、名称は必ず重複しないようにしてください。



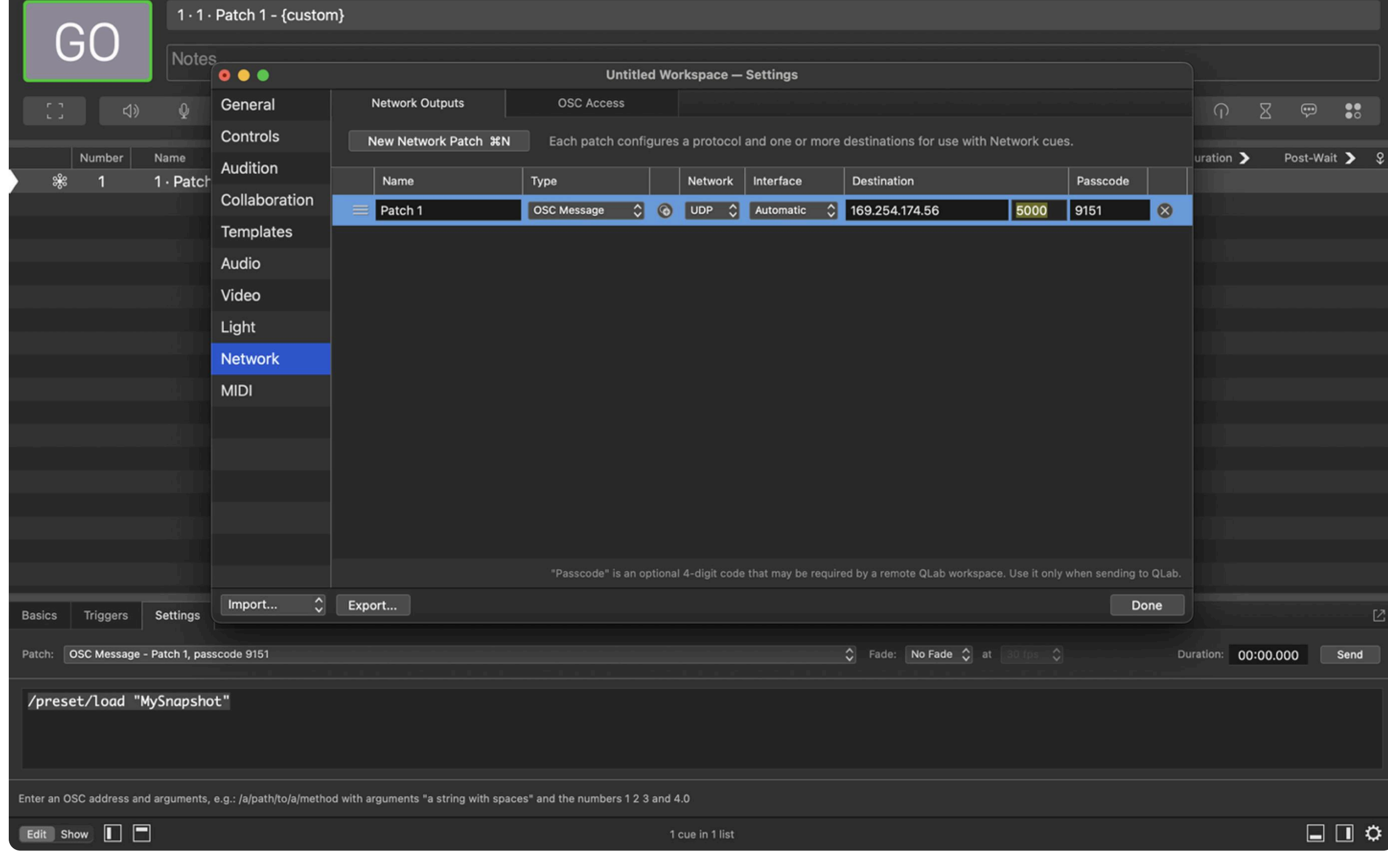
手順5：キューのネットワーク設定を行います。Patch から **Open Network Settings** を選択します。



Destination フィールドにホストのIPアドレスを入力します。



Port を5000に設定します。



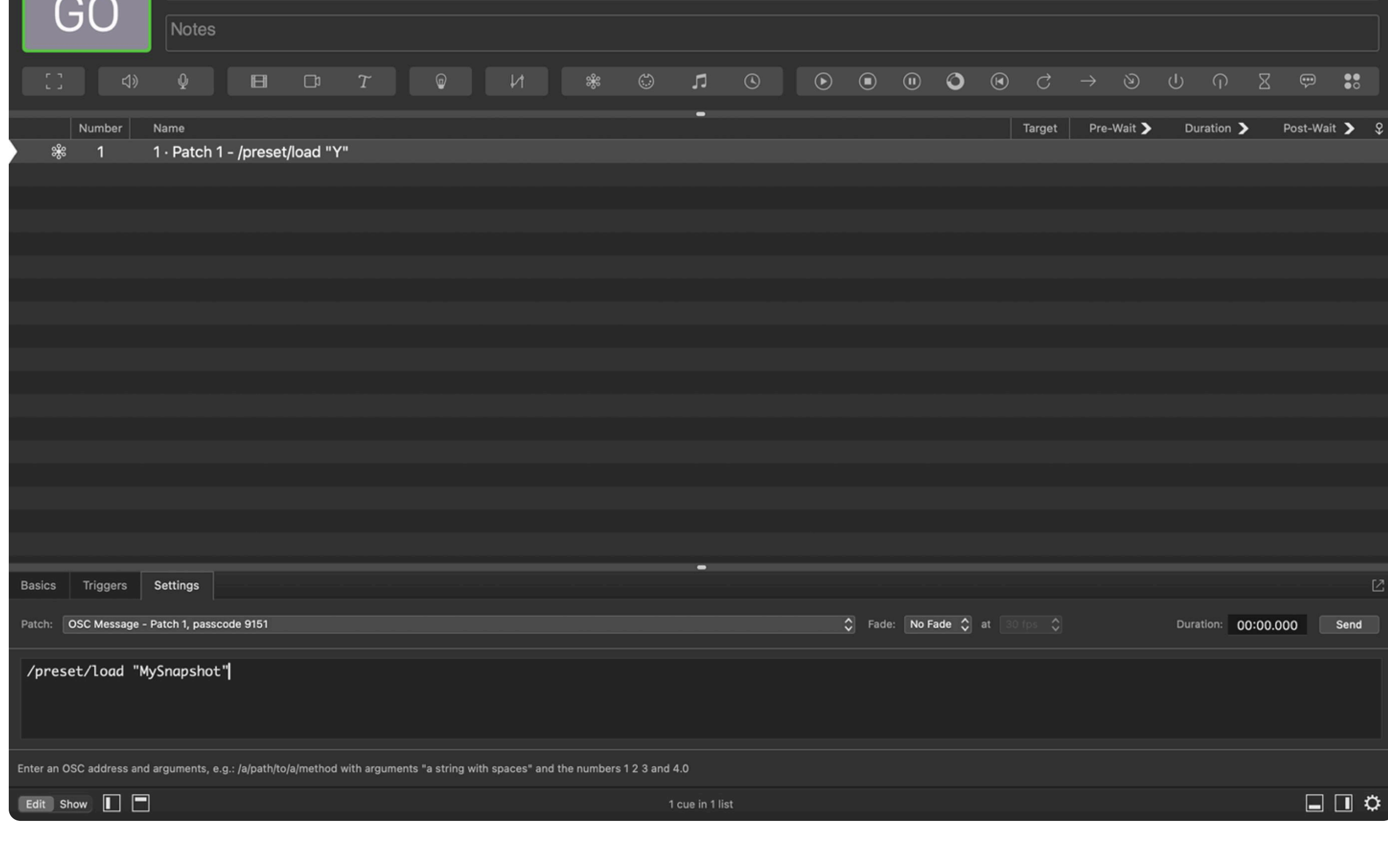
- 注1：マルチホスト構成の場合、各ホストごとに New Network Patch を作成する必要があります。
- 注2：DHCP 使用時は再起動ごとに IP アドレスが変わる場合があります。そのため、ホストは固定 IP に設定することを推奨します。すべてのネットワークに常に正しいIPが設定されていることを確認してください。ネットワークが正しいサブネット上にあることを確認できた場合のみ、ホストの IP を変更してください。

手順6：Network Cue を実行してスナップショットを保存します。後で呼び出すためスナップショット名を控えてください。次の保存を行う前に Command フィールドの名称を変更します。

- 注1：各ホストには約3,000件のスナップショットを保存できます。超えた場合、保存容量に問題が発生する可能性があります。
- 注2：ホストを交換した場合、スナップショットは各ホストにローカル保存されるため、新しいホストで再度保存が必要です。

## スナップショットの呼び出し

- 手順1：QLab で新規 **Network Cue** を作成します（前項と同様）。
- 手順2：Command フィールドに /preset/load "スナップショット名" と入力します。保存時と全く同じ名称を使用します。



手順3：Network Cue を実行してスナップショットを呼び出します。

注：呼び出し後、クライアントはホストと。自動的に同期していませんので、赤く点灯したSync ボタンを押して、再同期してください。